

第 71 回部門委員会

2020 年 1 月 31 日；龍谷大学大阪梅田キャンパス

1) 鋼床版の疲労耐久性向上に関するプロジェクト

関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科教授 坂野昌弘氏

坂野氏には、既設鋼床版に対しては現在の補強工法よりもさらに合理的な工法を、新設あるいは更新用の鋼床版については現在の疲労問題を根本的に解決できるような新しい構造を提案し、解析や疲労実験によってそれらの耐久性を検証し、最終的には実橋に適用して疲労耐久性の向上効果を検証することを目的とするプロジェクトの状況を紹介いただいた。

2) 転がり疲れと面圧強さ設計 (第 1 回) “転がり疲れ損傷とそのメカニズム”

岡山大学 名誉教授 吉田 彰氏

吉田氏には、転がり疲れに関するシリーズの第 1 回として、歯車や軸受などの転がり接触対偶をなす伝動機械要素の強度設計に際して肝要な転がり疲れの基本に関し、転がり疲れの損傷形態、接触表面下に生じる各種応力の様相、潤滑油膜厚さ/表面粗さと転がり疲れ寿命、転がり疲れ損傷のメカニズム、面圧強さ評価法について解説いただいた。

なお、第 71 回委員会では、疲労部門委員会他からの参加を得た。